槌音

桶川市立桶川中学校
学校だより　第１号
令和８年４月９日発行

未来の自分に誇れる今を

校長　　小髙　剛

風光る春。桜の花は盛りを過ぎたものの、眩しい陽射しを受けてまだまだ青空に映えています。この暖かな春空の下、本校第８０回入学式を挙行しました。本年度は１５１名の新入生を迎え、全校生徒４７２名と教職員５５名でのスタートです。生徒たちが本校での学びを通して、社会的自立を目指し、変化の激しい社会を行き抜くための礎を築くよう期待しています。

本校の学校教育目標は、【学ぼう未来へ　育てよう心と体】です。未来・将来は「今」の積み重ね。未来の自分が、あのときの自分はよく頑張ったなと思えるような今を、中学校生活を過ごしてほしいとの願いを込め、【未来の自分に誇れる今を】という副題を設けています。

生徒たちが中学校生活で様々なことに挑戦し、学力・豊かな人間性・逆境に負けない強い心と身体を育み、人生や社会の未来を切り拓く力を身に付けることを期待して、本年度も始業式・入学式で、次の３点を伝えました。

１　学校は学ぶところであること。知識と知恵を身に付けるところであること。
物事を知っている（知識）だけでなく、その知識を使って課題を解決するために考えたり他者と協働したりする力（知恵）を身に付けてほしい。どちらも身に付けてこそ、人生や社会の未来をよりよく切り拓いていける。

２　自分と他人のよさや違いを認め、協力し合うこと。
人はみな顔が違うように、考え方や個性もみな違う。みんな違ってみんないい。違うからこそ世の中は面白い。一人一人が互いの存在や立場を認め合い、支え合い、高め合う学級・学年・学校に成長してほしい。

３　粘り強くやり抜くこと。
自分には無理だと安易に決めつけたり諦めたりしない。他の人に無理だと言われても気にしない。自分でやると決めたことを粘り強くやり抜こう。毎日の小さな努力の積み重ねが、自分を大きく成長させる。中学校生活は未来の自分のための土台作り。

人は誰でも、「よさ」や「可能性」をもっています。仲間とともに学習や特別活動、部活動など、今、目の前にあることに全力で励む中で、自分のよさや可能性を伸ばしていってほしいと願っています。また、私たち教職員は、そのよさや可能性を引き出せるよう支援してまいります。

本校創立８０年目の春。保護者・地域の皆様には、生徒たちの「今」を応援するとともに、社会に貢献する生徒の育成に向け、御支援を賜りますようお願いいたします。